



～自死遺族等支援団体向け～ 「オンライン形式のわかち合いの会」 運営スタッフ研修 (第2回～4回のご案内)

参加費
無料

遺族の「わかち合いの会」の新たな可能性を模索する

新型コロナウイルスの影響で、多くの団体等が「対面形式のわかち合いの会」の開催自粛や活動の縮小を余儀なくされる中、いのち支える自殺対策推進センターでは、感染のリスクを避け遠隔地からの参加等を可能にする「オンライン形式のわかち合いの会」の運営スタッフ研修(全4回)を実施しています。

第1回「基礎編」(9月18日開催)を終え、この度、第2～4回「実践編」の参加申し込みを開始致します。

「実践編」は、「基礎編」の受講または動画視聴を参加要件とし、参加者が運営するわかち合いの会の対象者(大人、若者、子ども)別に、より具体的な運営ノウハウの習得を目指します。

第1回は「基礎編」(必須受講、動画公開予定)、第2回～4回は会の対象別の「実践編」(選択受講)

第1回

「オンライン形式のわかち合いの会」の基礎 ～遺族にとって安心・安全な環境作りとは～

開催終了

内容

- 「わかち合いの会」運営のポイント～遺族にとって安心・安全な環境作りとは～
- オンライン開催の利点と課題など

本研修の概要ページ

講師

- 一般社団法人日本グリーフ専門士協会 代表理事 井手 敏郎
- 特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター 代表 杉本 脩子
- 株式会社インソース オンライン事業部



現在、収録した講義動画の公開を準備中です。追って、JSCPのホームページにて公開いたします。

第2回～4回 「オンライン形式のわかち合いの会」の実践 (選択受講)

注意

第2回以降の研修参加には、第1回「基礎編」(開催終了)の受講、または講義動画の事前視聴が、参加要件となります。

対象

対面やオンライン形式の「わかち合いの会」を実施している自死遺族等支援団体のスタッフ

開催時刻はいずれも14:00～16:00

定員：各回先着20名(各回1団体1名様まで)

第2回

～大人向けのわかち合いの会を実施する団体向け～：2021年11月27日(土)

講師

- 自死・自殺に向き合う僧侶の会 共同代表 浦上 哲也
- リメンバー福岡 自死遺族の集い 代表 小早川 慶次

第2回～4回
申込フォーム

第3回

～若者向けのわかち合いの会を実施する団体向け～：2022年1月29日(土)

講師

- 一般社団法人リヴオン たむら ともみ
- 特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター 代表 杉本 脩子



第4回

～子ども向けのわかち合いの会を実施する団体向け～：2022年3月12日(土)

講師

- 一般財団法人あしなが育英会 心のケア事業部あしながレインボーハウス(東京) 相澤 治
- 特定非営利活動法人こどもグリーフサポートふくおか 代表理事 桂城 愛

講師紹介「オンライン形式のわかち合いの会」の実践



第2回

「大人向け」の会：2021年11月27日（土）14:00～16:00



浦上 哲也 自死・自殺に向き合う僧侶の会 共同代表

1973年、東京都出身。一般家庭で育ち、大学卒業後に一般企業勤務を経て、25歳で僧侶として寺院に奉職。2006年に横浜市内で布教所「なごみ庵」を開所（令和元年、全国で令和初の宗教法人として認可を受ける）。2011年に「自死・自殺に向き合う僧侶の会」に入会し、2017年に同会共同代表に就任。
*2020年9月より「自死遺族と僧侶のオンライン茶話会」を毎月オンライン開催、責任者を務める。



小早川 慶次 リメンバー福岡 自死遺族の集い 代表

福岡県福岡市出身、1児（15才男の子）の父。普段は公共のインフラ・土木の設計に携わっている。2007年より「リメンバー福岡自死遺族の集い」に参加。同年5月よりファシリテーター・運営スタッフとなり、2011年に代表に就任。孤立している自死遺族が集いに参加しやすい環境づくりのため、講演・研修などの啓発活動にも取り組む。これまでに、延べ1300人以上の自死遺族と出会い、声を聴き、共に歩んできた。福岡県自殺対策協議会委員、福岡市自殺対策協議会委員。
*2020年9月より「リメンバー福岡 自死遺族の集い」を毎月オンライン開催。

第3回

「若者向け」の会：2022年1月29日（土）14:00～16:00



たむら ともみ 一般社団法人リヴオン

2010年に兄を自死で亡くす。日本女子大学家政学部児童学科通信課程にて表現アートセラピーを学び、卒業。同課程の芸術・子ども支援プログラム修了。2014年～2019年、生きづらさを抱えた人々がつどい聴き合い、表現し合う場である「あまやどりカフェ」を主催（現在は無期限休止中）。2014年にリヴオンの活動を知り、ことばだけではないグリーフとの向き合い方に触れる。2015年よりリヴオンの「大切な人を亡くした若者のつどいば」ファシリテーターとして活動。訪問看護師。
*2021年3月より10代～30歳くらいまでの方を対象に「大切な人を亡くした若者のつどいば」を毎月オンライン開催。



杉本 侑子 特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター 代表

1984年に夫の病死後、遺族支援活動に携わる。自死遺児との出会いから、2005年より自殺対策に取り組む。2008年「全国自死遺族総合支援センター」が発足し、代表に就任。相談窓口、わかち合いの会等の運営を行う。厚生労働省有識者会議委員、各地の自治体の自殺対策会議委員を務める。
*2020年11月より18歳～30代を対象とした「身近な人を亡くした若者のつどい」を毎月オンライン開催。
*2021年2月より6歳～18歳を対象とした「身近な人を亡くした子どもとその家族のつどい」を毎月オンライン開催。

第4回

「子ども向け」の会：2022年3月12日（土）14:00～16:00



相澤 治 一般財団法人あしなが育英会 心のケア事業部

あしながレインボーハウス（東京）

1975年、宮城県塩釜市出身。2011年9月よりグリーフサポート活動を開始。2012年に「NPO法人子どもグリーフサポートステーション（同県仙台市）」の設立に参画し、死別を体験した子どもと保護者を対象としたグリーフサポートに取り組む。国内各地で行われるグリーフプログラム等のディレクターの他、グリーフサポートに関する研修や講演の講師も務める。2019年より現職。
*2020年4月より遺児とその保護者を対象としたグリーフプログラムを不定期でオンライン開催。



桂城 愛 特定非営利活動法人子どもグリーフサポートふくおか 代表理事

15歳に父を自死で亡くし、奨学金を借りながら「あしなが育英会」の遺児支援活動、グリーフケアプログラムに携わる。アパレルの販売員を経験した後、子どもと深く関わりたいと大学の保育学科、心理学科で学び、福岡県内の幼稚園に勤務。2014年の「こどもグリーフサポートふくおか」の立ち上げからファシリテーターとして参加。2020年6月同団体代表理事に就任。幼稚園教諭二種免許。
*2020年6月より身近な人を亡くした子ども向けに「オンラインお話し会」を不定期でオンライン開催。